

製品名: HDAC4 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21270**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:119kD;Observed MW:140kD

抗原情報

遺伝子名	HDAC4
別名	HDAC4;KIAA0288;Histone deacetylase 4;HD4
遺伝子 ID	9759.0
SwissProt ID	P56524
免疫原	-

背景

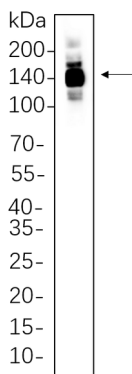
細胞局在: 細胞質、核。ヒストンは転写制御、細胞周期の進行、そして発生過程において重要な役割を果たします。ヒストンのアセチル化 / 脱アセチル化は染色体構造を変化させ、転写因子の DNA へのアクセスに影響を与えます。この遺伝子によってコードされる

タンパク質は、ヒストン脱アセチル化酵素/acuc/aphaファミリーのクラスIIに属します。ヒストン脱アセチル化酵素活性を有し、プロモーターに連結されると転写を抑制します。このタンパク質はDNAに直接結合するのではなく、転写因子MEF2CおよびMEF2Dを介して結合します。RbAp48およびHDAC3と多タンパク質複合体を形成して相互作用すると考えられます。[RefSeq提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



HEK293細胞ライセートを4~20% SDS-PAGEで分離し、メンブレンをHDAC4ウサギモノクローナル抗体(1:1000)でプロットングした。抗体の検出にはHRP標識ヤギ抗ウサギIgG(H+L)抗体を用いた。